

令和6年度京都版市町村連携型ふるさと納税 寄附金活用状況のご報告

京都府を応援してくださる全国各地の皆様から、多数のご寄附をいただきました。
温かいご支援に心から感謝申し上げます。

お寄せいただいた寄附金につきましては、京都府ふるさと応援寄附基金に積立て、
下記のとおり、令和7年度に一部を府内市町村への支援に活用するとともに、京都府
総合計画で掲げる各種施策を推進するために活用させていただきましたので、ご報告
いたします。

記

1 令和6年度 寄附金受入実績

- 件 数：16,990件
- 金 額：278,805,500円

【使途別内訳】

使 途 区 分	金 額（円）
① 安心できる健康・医療・福祉の実現	117,173,500
② 災害・犯罪等からの安心・安全の実現	15,700,000
③ 子育て環境日本一・京都の実現	66,619,000
④ 誰もが活躍できる生涯現役・共生京都の実現	4,073,000
⑤ 共生による環境先進地・京都の実現	11,936,000
⑥ 未来を拓く京都産業の実現	12,821,000
⑦ 文化の力で世界に貢献する京都の実現	31,595,000
⑧ 交流と連携による活力ある京都の実現	4,114,000
⑨ 人・物・情報・日々の生活の基盤づくり	14,774,000
合 計	278,805,500

2 令和7年度 寄附金活用状況

(1) 京都府ふるさと応援交付金による市町村支援（68,333,000円）

府内市町村が行う地域振興に資する事業に対し、「京都府ふるさと応援交付金」
として交付いたしました。

(2) 京都府総合計画で掲げる各種施策の推進（210,472,500円）

寄附者の皆様が選択された寄附の使途をもとに、別紙のとおり「あたたかい京
都づくり」の実現に向けた各種施策の推進のため、事業費の一部に寄附金を活用さ
せていただきました。

令和7年度の主な取組みと成果

全ての営みの土台となる「安心」

■ 安心できる健康・医療・福祉

京都府介護・福祉職場業務改善支援センターを開設

全国初

介護サービス事業所に加え、障害者施設や児童養護施設、保育所等までを対象としたセンターを開設し、事業所の業務改善を支援

【実績・事例】

- ・相談対応件数 94件
- ・ICT機器導入による、職員間の情報共有や応援体制が強化され、利用者対応への時間を確保、職員の時間外勤務の縮減にも寄与



▲京都府介護・福祉職場業務改善支援センター
(京都市中京区)

京都府移行期医療支援センターを開設

小児期発症慢性疾患患者の円滑な成人診療科への移行と自立を支援するためのセンターを府立医科大学内に開設

【実績】

移行先の成人診療科として、128医療機関をリスト化



■ 災害・犯罪等からの安心・安全

災害に備え、T（トイレ）K（キッチン）B（ベッド）を確保

過去の災害を教訓に、避難生活の質の向上に向けた物資等を確保

【実績】

簡易ベッド：6,600台、パーティションテント：3,300張
簡易トイレ：30基、災害時の炊き出し支援に関する協定締結



▲パーティションテント

Be-Unitの体制拡充

自転車41台58名体制による取締活動の強化により、繁華街における巡回の機動力が大幅に向上



▲自転車取締小隊（Be-Unit）

子どもたちを育み、絆を守る「温もり」

■子育て環境日本一・京都

婚活応援センター開設10周年！「婚活フェス」等を開催

開設10周年を記念した「婚活フェス」をはじめとした「出会いイベント」や「AIマッチング」などにより、カップル成立を後押し

【実績】

- ・カップル成立数 9,591組（27～）
- ・成婚数 1,140組（27～）



▲婚活フェス（京都市下京区）

子育てにやさしいまちづくり推進交付金

市町村が策定する「まち全体で子どもを見守り支える」まちづくりを進めるための計画に対する支援を実施（支援市町村 宇治市・宮津市・八幡市・久御山町）

【久御山町での取組】

中学校の体育館を開放して、子どもからお年寄りまでが集い、ゲームやスポーツを楽しむ「よるのがっこう」を実施



▲みまきっこまんなか応援まちづくり
～よるのがっこう～
（久御山町）

京都市と連携し、妊娠等に関する相談窓口を一本化

京都市と相談窓口を統合し、若年層も活用しやすいようSNSによる相談体制も整備

【相談件数】 1,727件（R7.7～R8.3）



■誰もが活躍できる 生涯現役・共生の京都

「京都府農林水産業人材確保・育成ネットワーク」を設立

生産者・企業・大学など分野を超えた連携により、府内の農林水産業の人材確保・育成に向けた基盤を整備

【キックオフイベント参加者数】 235人

■共生による 環境先進地・京都

「KYOTO地球環境の殿堂」国際会議・未来会議を開催

京都議定書発効20周年を記念し、2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題について、「気候変動」等のテーマで議論等を実施

【来場者数】 約1,100人



希望や活力の源泉となる「ゆめ実現」

■未来を拓く京都産業

「BitSummit」を開催

京都市と連携し、ゲームクリエイターの育成支援及びゲーム大手メーカーとのビジネスマッチング等の場を提供するとともに、共同プロモーションを展開

【来場者数】 58,065人（@38,333人）



▲BitSummit（京都市左京区）

京都の半導体産業を世界へ

京都市と連携し、ビジネス情報等の交換の場である「半導体サロン」の開催や「SEMICON TAIWAN」への出展などにより、ビジネス機会拡大を支援

【実績】

半導体サロン参加企業数 145社

SEMICON TAIWAN京都ブース来場者数 推計3,000人以上



▲SEMICON TAIWAN

■文化の力で世界に貢献する京都

京都アート月間を展開

「Art Collaboration Kyoto (ACK)」と「CURATION⇔FAIR Kyoto」（京都市）の同時期開催など、府と市が連携し、市内のアートイベントを一体的に発信

【ACK来場者数】 30,414人（@23,100人）



▲京都アート月間

■交流と連携による活力ある京都

京都未来人材育成プロジェクト

地域や企業の課題解決に参加する学生や大学を公募し、学生・大学と地域・企業とのマッチングを行い、「学生×地域×企業」のプロジェクトを京都市と連携で支援

【採択プロジェクト数】 56件

■生活の基盤づくり

小倉西舞鶴線「白鳥トンネル」が開通

車両や歩行者の安全な通行が実現



▲白鳥トンネル（舞鶴市）